

匠の街春日部かわら版

発行 餅コーワ
編集室：工房えびはら



「ぶらり散歩」-43- 道の駅 べに花の郷おけがわ

江戸時代、桶川のべに花は有名で、古くから染料や口紅原料として利用されてきました。埼玉県桶川市にある桶川宿(おけがわしゅく)は、江戸時代(1603~1868)に栄えた中山道6番目の宿場町です。日本橋から10里(現在の約40km)の距離に位置した今も古き良き日本の面影が残る場所です。べに花や農産物の集散地兼宿場町として栄え、桶川臘脂(えんじ)の名で全国に知られていました。桶川宿は、江戸から出発した旅人が最初に宿泊することが多かった宿場でした。町並みは、寛永12年(1635)にほぼ完成し、べに花の生産地として出羽の最上に次ぐ生産量で問屋が軒を並べていたようです。紅花は荒川の太郎右衛門河岸から江戸へと出荷されていました。明治以降に降化学染料の普及で紅花は衰退しました。

現在では桶川市内4か所で観賞用のべに花を栽培しており、開花時期には染色体験などのイベントが開催されています。観賞時期は6月中旬~6月下旬となります。エジプト原産とされるべに花は、日本には5世紀頃に中国から伝来しました。江戸時代、米沢藩で上杉鷹山奨励のもと特産品としてべに花を栽培、米沢藩財政を建て直しています。

桶川の紅花栽培は、天明・寛政年間(1781~1801年)に、江戸商人が山形の「最上紅花」の種子をもたらし、そこから生産が始まったと言われています。最上地方に比べて温暖な桶川では、ひと月早い6月に収穫されました。早場ものとして高値で取引されたそうです。取引値は、米の4倍ともいわれたので、当時の桶川宿あたりは、一面紅花畑だったそうです。

幕末頃も、最上べに花に次ぐ生産量を続け、桶川宿の商人によつて買い集められたべに花は、紅染や口紅の材料として使われ、ようになり、人気となります。江戸時代、紅はべに花から赤い色素を抽出したもので、それをお猪口や貝などの内側に塗って市販されていました。しかし、庶民が手を出せるものではなく、金と同じような金額で取引されていたそうです。



今回のぶらりは、「道の駅べに花の郷おけがわ」です。今年の3月27日にオープンした新しい道の駅で、SNSでは「とにかく混んでいる」「全部並ぶ」など聞いていたため、雨の日の午前なら混まないだろうと出かけました。埼玉県内道の駅では、21番目となります。

現在も市のシンボルとなっているべに花など、市の特徴を取り入れた施設で、入口のえんじのタープは、べに花の郷のイメージにピッタリ。館内に入ると先ずは野菜の露大売り、そのまま農産物直売所に入ります。中山道の宿場町・桶川宿の魅力を発信する食のテーマパークには、地域食材をふんだんに使った食堂をはじめ、ベーカリーやソフト&クレープ専門店など、グルメやスイーツのお店が盛りだくさん。桶川産の「男気トマト」や埼玉県特産の武州和牛、軍右衛門うどんなど、ここでしか出会えない味にも注目です。地元産の農産物から海産物、お惣菜とお弁当、焼き物に揚げ物、そし



て埼玉県と言えは焼き芋お菓子の土産まで県内の名産品が所狭しと積み上がっていました。建物は綺麗で、試食できるお土産もたくさんありました。桶川産のべに花ドレッシングや深谷ねぎせんべい、川越の特産品など埼玉県内各地の食品も取り扱っていました。特に気になったのは、埼玉県内の日本酒のコーナー。素晴らしい品揃えです。



海の無い埼玉県に「海鮮市場」があるのは素晴らしいことです。小田原漁港などから仕入れた新鮮な魚を、高速道路で直送。桶川北本にがすべににあるおかげです。桶川の「桶」をイメージした海鮮丼をはじめ、「男気トマト」を使ったメニューなど、こだわりの地元食材を主に豊富なジャンルのメニューがあります。メニューに迷いながら「桶まる定食」(1848円)をオーダー、肉厚のソフトな鰻フライと新鮮なお刺身は抜群の味でした。

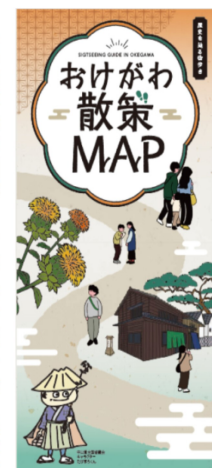


ど人気でした。常に行列の絶えないお店です。

【オッケー桶川ソフト&クレープ】桶川市民の花であるべに花を模したミルクソフトをはじめ、埼玉県産の牛乳をつかったクレープなどのスイーツで人気です。

【野外ドックラン】無料

【古き良き町「桶川」歴史さんぽ】



道の駅案内所にある「おかげがわ散策MAP」を手に、道の駅から5キロ車で10分ほどで桶川駅前に移動できます。皇太后宮下向、文久元年11月13日(1861)の際、付き添い役を務めた山岡鉄舟の宿泊所が、下木戸からほど近い武村旅館(たけむりりょかん)です。当時は違う名前の旅館で、現在の建物は正統時代に改築されたものですが、内部の間取りは昔の名残を残しており、鉄舟自筆の宿帳も保存されています。

宿場町のほぼ中央には参勤交代の大名などが宿場とする「本陣」があります。桶川宿では府川家が代々その当主を勤めており、幕末には最後の将軍徳川慶喜の父で水戸藩主の徳川斉昭、そしてもちろん皇太后宮もここに宿泊しました。斜め向かいにある「小林家住宅主屋」も桶川宿の旅籠のたたずまいを伝える建築物で、いずれも国の有形文化財に登録されています。非公開

埼玉県内にあった中山道の宿場、浦和宿、大宮宿、上尾宿、桶川宿、鴻巣宿、熊谷宿、深谷宿のうち、こうした遺構が遺されているのは唯一、桶川宿だけで国や県の指定文化財になっています。道の駅ぶらりの後半に、歴史散歩もお薦めです。江戸時代に日本橋から京都につながる中山道を感じることが出来ます。

9月号 Vol.321
2025年9月20日（土）

発行所：（株）コーワ
発行者：広地 進
制作・編集：工房えびはら
発行日：毎月20日発行

読者の広場

朝日新聞と森永牛乳を皆様の笑顔のために届ける情報誌

ASA 春日部
〒344-0055
春日部市八木崎町 1-19
☎ 0120-86-1637 FAX:048-761-0044
http://www.asa-kowa.com



コーワ春日部ミルクセンター
TEL:048-753-1800 FAX:048-761-3036

先月号の答えは『光陰流水』でした。

クイズ応募者 38 名様で 37 名の方が正解でした。

→長	月	見	酒	宴	会	芸	能
食	欲	求	不	満	腹	感	力
民	頭	演	説	法	医	受	戦
国	街	乱	高	下	学	性	奮
油	下	不	期	半	術	質	闘
産	地	心	一	画	書	実	争
土	心	人	茶	康	健	剛	心
手	切	念	記	簿	件	事	配

答え 光陰流水

→秋

	日			生			
	質	賃		屏		景	裏
	電			科			一
空	面		量			用	
		観	月		団		操
顔	水	体					
			相		半	白	色
真		生	来			理	

答え

難易度 ★☆☆ (初級)

リスト

医 円 応 屋
画 絵 外 活
金 月 見 子
紙 似 事 実
車 食 測 船
体 大 団 着
天 内 発 表
風 物 分 満
名 面 用 料
路 和

① 朝日新聞 天声人語書き写しノート 3名様
② 森永絹ごしとうふ(常温保存可) 10名様
③ 森永充実野菜(常温保存可) 3名様
④ 森永まろやか黒酢(黒糖&りんご味) 6名様

正解者の方に抽選でプレゼント致します！
(希望商品を2つまで書いてください！)

漢字ぐるぐるパズル
漢字ぐるぐるパズルは、漢字を白マスに入れて、漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

「暑さ寒さも彼岸まで」は今も通用するか

朝日新聞立川支局員 山浦 正敏

7月末のロシア・カムチャツカ半島付近の地震で、発令された津波警報も、テレビやネットで記者との質疑応答も生中継です。

一方、筆者が記者になった40年近く前、自然災害は、台風や地震、大雨・雪が中心でした。任地の山陰地方では梅雨末期の集中豪雨で災害が相次ぎました。

紙の新聞はどうしても記事を書いてから印刷・配達に時間がかかります。台風情報を伝えても、読者が新聞を開いた時は青空、という状況もあります。そのため「時間差」を意識して記事を書くのが常でした。

しかし、新聞のデジタル版も含めてリアルタイムの時代です。いま何に警戒しなければならぬかが重要です。命に危険を及ぼすような気温は短い時間で刻々と変化します。ますます気象庁の分析と予報が大切になっていくのです。

さて、冒頭の慣用句は別の意味にも使われます。「大変なことでもいつかは乗り越えられる」ここでも残暑のように、境となる時期が「彼岸」から「寒露」へと先延ばしにならないことを切に願います。

☆☆☆「漢字ぐるぐるパズル」クイズ解答応募先☆☆☆

ハガキかメールで「答え」、「住所・氏名」をご記入の上、コメントを添えてご応募ください。

〒344-0055 春日部市八木崎町1-19 (株)コーワ「漢字ぐるぐるパズル」係 メール otayori@asa-kowa.com まで
ハガキは9月28日消印有効、メールは9月末日到着有効(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます)

Cooking

ナスとホタテの揚げ漬け

1人分398kcal 塩分2.8g ▷15分
*の時間は除く

●材料(2人分)

ナス.....3本
ホタテ.....8個
ミョウガ.....1個
青ジソ.....2枚
片栗粉.....適量
揚げ油.....適量

① だし.....大さじ4
砂糖.....大さじ1
しょうゆ.....大さじ2と1/2
酢.....大さじ2

【作り方】

①ナスは縦半分に切って皮側に格子状に浅く切り目を入れ、長さを半分に切る。ミョウガは薄い小口切り、青ジソはせん切りにする。ホタテは片栗粉を薄くまぶす。

②バットに①を入れて混ぜる。

③170℃の油でナスを2分揚げ、ホタテを1分30秒揚げる。

④②に③を加えてからめ、10分おく*。器に盛り、ミョウガと青ジソをのせる。

料理・市瀬悦子 撮影・木村拓

当店ご購入者様へ

便利なWEBサービスを開始しました! WEBからお休みのご連絡や各種お申込みを受付けるサービスを開始しました。24時間365日ご利用いただけます。

【PC/スマホの方】 <https://www.asa-kowa.com>

☆携帯の方はこちら

【空メール: y@asa-kowa.com】

※件名、本文は必要ありません。

※受信制限をご利用の方は、「asa-kowa.com」からのメールを許可してください。

お便りコーナー

◆パレスチナのカザのの様子を見ていると、なぜ止められないのか、不思議に思う。国連も、各国もただ意見を言うだけ。アメリカとイスラエルには、食料を求める人々がどう写っているのか。最後は自分の国だけが、生き残ればいいと思っているのかもしれない。なんとかして欲しい。人間は戦争をやめない生き物かも。

【大枝 Y.N.さん】

◆紙の辞書を大部分処分しましたが漢字関係は数冊残して置きましたのが役立ちました。更にAIで調べましたが今回の四字熟語を提示されました。光陰矢の如しが一般的に使われるので流水はあまり見かけませんが。

【大枝 S.T.さん】

◆今夏は異常な暑さで、人間だけでなく木、植物にも影響が大きくな、木は伸びが早く垣根の手入れも、植物も大分、枯らしてしまいました。涼しくなる事を待つばかりです。

【大沼 N.H.さん】

◆今年は、猛暑日が増えたとか？挨拶も「暑いね」から「身体に気をつけてね」に変わった。春と秋が短く季節が二季になってしまうのか？自然現象なので、なす術もないが快晴の空を今日も見上げている。

【南 N.O.さん】

◆大谷翔平さんが44号ホームランを打ちました。今年も50本超えそうです。大谷さんだけでなく海外で日本人が活躍する事は凄く励みになります。これからも頑張ってください！

【粕壁 T.Y.さん】

◆お便りコーナーには高温多湿、猛暑などこの厳しい暑さに対しての文字が多く、年々気温が上っているのもつうな感じです。早く秋よ来てほしい...

【大沼 M.O.さん】

◆猛暑が続く、地植えのバラが大変な事になった。ミバラ一本の葉が全て茶色のチヨリチヨリ枯れたのである、初めてのことで。連日の暑さが尋常でなく、降雨量が少なすぎるからだろう。畑や田んぼで苦労している方々を察せずにはられない。温暖化に全力で向きあてほしい。

【大沼 N.T.さん】

◆先日テレビのニュース番組で、「セルフレジ」で万引きが多く、批判と対策を議論していましたが、人手不足との理由で、レジの作業をお客様に負担させ、作業の正しさについては、お客様の善意に期待するシステムに、納得がいきません。サービスのシステムは、お客様が楽に便利になることが求められると思います。

【豊町 K.K.さん】

◆クーラーを入れて扇風機を廻す生活が続いています。とにかく暑い。外出は夕方太陽が沈んでから買物に行っています。車は暑いといつより熱いので乗っていません。参りました。

【栄町 K.N.さん】

◆昨日、長期天気予報の報道がありました。今の猛暑がまだまだ続くとの事。体調管理に自信が無くなりそうです。

【一ノ割 R.H.さん】